

令和6年度 高見保育園 全体の振り返り

令和6年度、相模原市から支援保育研究施設に認定されて2年目になり、支援保育に関する研修会を他園保育士にも開放（27名参加）し、支援を必要とする子どもの接し方や保育の仕方の情報提供を行い相模原市全体の保育質向上に努めました。医療的ケア児関連の情報提供を積極的に行い、入所希望者に対し1年間かけて保護者との面談、保育課・子育て支援センターなどと連携しながら準備をして態勢を整え、令和7年4月から医療的ケア児の在園が2名になりました。

高見保育園は「子どもが主体的に活動できる環境をつくる保育」を目指し、子どもたちがやりたいことを見つけて行動する保育をしていることで支援が必要な子がそのまま通常保育の中で生活することが当たり前の環境であり、せかされる場面が少なく落ち着いて生活できるような雰囲気を意図的につくり、インクルーシブ教育を意識した保育を進めています。

保育は、3、4、5歳児異年齢による合同保育をしています。5歳児は3、4歳児が困っているときに世話を進んでしてくれたり、遊ぶ際は輪に入れて面倒をよく見て、秋以降はトラブルの仲裁までできるようになっていました。5歳児は、遊びの時間中でも進んで手伝いや小さい子のお世話をするが多く、見通しをたててよく考えて行動をしています。行事などの際は、子どもたちが何をしたいのか尊重することを重視して保育しました。運動会にあたる「どんぐりフェスティバル」では5歳児は個々に一定の時間を与えて保護者に発表するものをひとつ考えて披露しようと投げかけ、それぞれ縄跳びやフラフープなど出来なかったことをチャレンジして練習し披露していました。お遊戯会にあたる「おたのしみ会」でも、それぞれが発表したいことを話し合いで決めて、4つのグループに分かれ、歌、踊り、劇などを披露していた。0、1、2歳児は、それぞれに個々のやりたいことをできるように個々に合わせた環境を作った保育をしていました。この積み重ねが3、4、5歳児の探求に向かう力を育てていくのに重要な意味を持つといえます。保育者は子どもたちが興味あることに向かうためにいろいろな仕掛けを考え、探求できる環境をつくってなるべく個々に対応していますが、保育者間の情報共有を多く持ち、どの職員も個々の子どもの興味関心に寄り添えるように心がけています。

また保育の質向上のために、グループワーク、職員が考えた園内研修（「自分が園庭を計画したら？」「自分が園を作るとしたら？」）を企画したり、日々の保育に対するカンファレンスなど意見を発信する機会を多く設け、個々の発言・意見を尊重したため、経験の多い職員から若手職員まで多くの意見を出すようになり、職務に対して当事者意識をもって従事できるようになりました。

施設面では、保護者アンケートでも建物の老朽化、園庭遊具の劣化についての指摘などの要望が寄せられていたので優先順位を考えながら補修の案を出していきたいと計画しています。

園長

2024 年度 職員 自己評価チェック 職員からのコメント

0、1 歳児クラス職員

- ひよこ組は、子どもたちも先生たちも穏やかで笑顔の絶えないクラスでとてもいいクラスだと思いました。
- 子どもたちがのびのびすごせて保育園を楽しい場所だと思えるように関わり、声掛けを意識して1年間過ごしてきました。
- 子どもたちにとって安心できる存在でいられるように、楽しく過ごせるように一緒に楽しんだり喜んだりすることを心掛けました。
- 来年度はもっと子どもたちに色々な経験をさせてあげられるように新しい活動を考えていきたいと思います。
- 子どもたちに何がしたいかなどを聞きながら保育を行うことが出来ました。途中散歩に行きたい、やっぱり園庭がいいという気持ちにも臨機応変に対応でき、子どもたちと一緒に笑う機会が多かったです。
- 初めのころは職員一人一人が慣れることに必死で上手にコミュニケーションが取れていなかったり、クラスの雰囲気が大丈夫かな、と思うことが何度もあり、正直辛いなと感じることもありましたが、子どものことや日々の振り返りなど、コミュニケーションを多くとるように心がけると、クラス全体の雰囲気も良くなり笑い声がたくさんのとてもいい環境で保育できているように思います。周りの人たちも楽しく保育できるように、しつこいくらいに話しかけたり、コミュニケーションを取るように毎日心掛けているつもりです。
- 子ども一人一人の興味関心を理解し「安全・安心な保育室」を提供できるように環境の本を見たり調べたり、工夫した。
- クラス内でカンファレンスすることを心掛け、話をする事で子ども理解が深まり、保育士同士のコミュニケーションもとれ、今まで以上にチームワークが強まった気がします。

2 歳児クラス職員

- クラス内コミュニケーションを取ることでより子ども理解を共有したり、同じような意識で保育できるようにした。
- 子どもの主体性を尊重し、生きる力を育てる中で何ができるか、どうしたらよいかなど、日々考えながら保育してきました。主体性が強すぎ、子どもたちの方が先に行ってしまう、後から保育者があわててついていく場面もありましたが、どの子も生き生きと育っているのではないかと思います。

3、4、5歳児クラス職員

- 保育に関して、もっと出来るかな、もっと自由な考えでよいのかなと思うことがあったので次年度の保育の中で共有しあって保育にあたることと、自己研鑽に励まなければと今年度チャレンジしようとして踏み込めなかった研修への参加も積極的に参加するようにしたいです。
- 毎年、毎年、働く環境が変化してきていると感じるのは園長の行動力と発信力とマネージャーの努力、職員全体の意識の変化、行動だと思うので自分も含め、皆ほめたいですここまで働く環境が変わったことをうれしく思います。
- 支援が必要な子どもへ向けたケース会議のテーマをなるべく色々な角度からとらえられるよう考えた。
- 子どもたちが、支援児を受け入れ、その存在を普通に受け止めて生活していた。
- グループワークを行う機会を作りました。そこから見えてきた課題を全クラスで解決できたわけではありませんが少しでも改善するきっかけづくりになりました。
- 子どもたちが自分で考えて行動できるように、子どもたちに考えてもらう機会を増やすよう心掛けました。そこで決めたルールを子ども自身が「みんなで決めたじゃん」と守ろうとする姿を見て、うまくいったのではないかと感じました。
- 子どもの興味あることをリアルタイムで取り組めたことで保育園が楽しいと子どもからも保護者からも伝えてくれることが多かった。来年度は、もっと子どもの気持ちをたくさん聞いて保育につなげていきたいです。

2 職員研修等

① 園外研修

- ・保育者の心構え・コミュニケーションスキル ・主体的な遊びの重要性
- ・配慮を要する乳幼児の理解 ・相模原市保育ガイドラインの理解と活用
- ・乳幼児の事故や疾病への対応 ・保育所保育指針への理解
- ・子どもの権利・人権の尊重 ・食育の理解と実践
- ・ミドルリーダに求められるもの ・次世代の保育者を育てる
- ・実践に生かす記録と保育の振り返り・組織を育てる主任
- ・園内研修の進め方 ・食事提供者の衛生管理
- ・アレルギー疾患の理解と対応 ・事故や事件のリスク管理
- ・小学校との連携及び小学校教育との接続に関する研修
- ・乳幼児の心もちを大切に ～保育者に期待されること～
- ・マジックと音楽と絵本 ～子どもの世界を彩る3つの魔法～
- ・地域の子育て家庭への支援充実に向けて
- ・医療ケア児の生活と看護 ・経営開発セミナー
- ・命を守るために～災害発生時に最善の判断と行動をするため、備えたいこと～

② キャリアアップ研修

保護者支援・子育て支援・乳児保育・幼児保育・障害児保育・安全衛生
食育・マネジメント

③ 園内研修

保育所内における嘔吐処理訓練及び感染症に関する確認
子どもの夢をかなえよう、人権について、プール事故について
AED 講習会、救急対応（心肺蘇生）、予防歯科
ケース会議・情報交換 年 10 回

④ 外部講師

「支援とはこんなこと」、「AED 救急救命」、
「絵本の見方が変わる制作秘話～これを聞けば同じ絵本を何度でも読みたくなる話～」

高見保育園 2024年度 保育園 評価反省チェックリスト

回答数 21

この自己評価チェックは、保育の質向上を図れるように継続的に行うことを義務化された評価反省チェックであり、高見保育園という視点で職員自らがチェックをしています。

(評価方法 1…とても思う 2…思う 3…どちらともいえない 4…そう思わない 無…無回答)

Q1 保育園の理念は、わかりやすい

「生きる力を育てる」

「自分で考え、自分で選び、自分で行動する子ども」

1	19	2	2	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q2 保育園の理念、方針は保育に生かされている

1	14	2	6	3	1	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q3 保育園の理念、方針は、子どもたちの育ちに生かされている

1	16	2	5	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q4 日々の保育、エピソードなどについて園長や他の保育士と

話す機会がある。

1	16	2	5	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q5 保育園の方針や保育目標がその時々幼児に合ったものに

なるように見直せる雰囲気だと思う。

1	12	2	9	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q6 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れるために

職員間の意思疎通、個々に意識して保育できる環境にある

1	9	2	12	3	0	4	0	無	0
---	---	---	----	---	---	---	---	---	---

Q7 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を

尊重するように気をつけている保育園である

1	13	2	7	3	1	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q8 保護者との信頼関係のよい保育園である

1	13	2	8	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q9 トラブルがあった際は、不安なく園全体で対応できる

(ケガ、誤嚥、感染症、防災、疾病、保護者対応等)

1	14	2	7	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q10 各種マニュアルなど、整備されている

1	15	2	6	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---